

国立・国定公園等での滞在型ツアー・ワーケーション推進事業



【令和3年度予算要求額 事項要求】



＜参考：令和2年度補正予算3,000百万円（国立公園等への誘客・ワーケーションの推進と収束までの間の地域の雇用の維持・確保）＞

国立公園等での誘客やワーケーションの推進により、新型コロナウイルスからの反転攻勢と地域活性化を図ります。

1. 事業目的

- ①国立公園等において魅力的なツアー・イベントやワーケーションを実施することで、新型コロナウイルス感染拡大により減退した公園利用の反転攻勢と地域経済の再活性化を図る。
- ②ウィズ・コロナの時代での3密を避ける健康志向により、自然の中でのアクティビティやテレワークを求める社会的ニーズが高まっており、これに国立公園等が応えるべく、滞在型の受け入れ環境を整備。

2. 事業内容

新型コロナウイルスの感染症拡大により、国立・国定公園では、観光事業者等に甚大な影響が出ており、以前の状態に戻るにはまだ時間がかかると考えられる。一方、自然体験、サスティナビリティ、健康等への関心が高まっており、国立・国定公園は大きなポテンシャルを有している。

①国立・国定公園での滞在型ツアーの推進

自然体験型のアドベンチャーツーリズムなど魅力的なツアー・イベントの企画・実施、海岸清掃・修景伐採等のツアー準備・環境整備を支援。

②国立・国定公園、温泉地でのワーケーションの推進

地域一体となったワーケーションの企画・実施、ワーケーション実施のためのWi-Fi等の環境整備を支援。

③国内外向けプロモーション

国立公園等の魅力を訴求するプロモーション等を実施。

3. 事業スキーム

- 事業形態 間接補助事業（定額、1/2、2/3）、請負事業
- 補助対象 地方公共団体・民間事業者・団体・協議会等
- 実施期間 令和2年度～

4. 事業イメージ



・自然体験、サスティナビリティ、健康等への関心が高まっており、それを踏まえたツアー等の造成を支援



・感染リスクが低い自然の中で健康かつクリエイティブに働けるワーケーションを推進



・各地域で滞在型ツアーやワーケーションを推進し、国立公園等の魅力とともにプロモーション